

総合建設業の岩部建設(本社愛知県武豊町)は、今年4月1日に創業100周年を迎えたのを機に岩部雅人社長と、前社長の故岩部一好氏によるエッセイ集を発売した。各1200部ずつ発売。取引先関係者や希望者に無料で配布している。

一好氏は岩部社長の父であり、1980年に同社の社長に就任した。経営者として社員とその家族に向け毎月の給与明細に自分のメッセージを添え、それらを本にまとめて2004年と10年に出版している。今回発売した「雄気 完結編」(281頁)は3冊目となり、一好氏が16年6月18日に亡くなる直前まで書き続けた内容をまとめた。

職人技術の継承に警鐘を鳴らしたり、財務の安定化に腐心したりなど、一好氏の思いが伝わってくる。序文には友人であった作家の

2冊のエッセイ集発売

岩部建設

城山三郎氏のメッセージも掲載している。岩部社長のエッセイ集は「散歩のついで」(739頁)。「一好氏の執筆を継承して書き記してきた。タイトルには「気ままに散歩に出掛ける時のように気軽に読んで下さい」と謙遜の意を込めた。岩部社長は「社員にも家

創業100周年を記念

岩部社長らのメッセージ紹介

庭を大事にして良き社会人として行動し、その上で精いっぱい仕事に励んでほしい」と強調する。

このほか「ベトナムに思う」「南言の気付き」「どういう家康」「本屋さん」など多彩なテーマについて触れている。

発売した2冊を持つ岩部社長



問い合わせは、同社総務部(電話0569・72・1151)まで。(半田)